

オンライン診療についての同意書

【オンライン診療の対象者】

- 再診患者さん：当院への受診歴があり、医師からオンライン診療の案内を受けた上で自ら希望する方
- ※初診患者さん(当院に受診歴がない)は原則対面診療となります。

【オンライン診療/対面診療の組み合わせと診療方法の判断について】

- オンライン診療では、触診等を行うことができないため、医師が得られる情報が限られます。
そのため対面診療を適切に組み合わせる必要があり、3カ月に1回以上は直接の対面診療を行います。
- オンライン診療を実施する際は、毎回、医師が医学的な観点からオンライン診療の実施の可否を判断します。
- 医師がオンライン診療を行うことが適切でないと判断した場合は、オンライン診療を中止し、速やかに対面診療につなげることとなります。
～医師がオンライン診療を行うことが適切でないと判断する例～
「直接の対面診察と同等でないにしても、これに代替し得る程度の患者さんの心身の状態に関する有用な情報が得られない場合」
「急病急変など緊急性が高い症状の場合」
「情報通信環境の障害等によりオンライン診療を行うことができなくなる場合」

【オンライン診療の方法】

- 患者側：スマートフォン
- 医師側：医療機関のパソコン、スマートフォン端末等の情報通信機器
- 利用するオンライン診療システム：Face Time
- 発信方法：事前予約により定めた時間に医療機関側から発信します

【患者さんの情報伝達の協力】

- 患者さんには、診察の際に必要な情報提供に積極的に協力いただく必要があります。

【急病急変時の対応方針】

- 当院で対応できない場合には、以下のクリニックに紹介します。
NTT 東日本関東病院、済生会中央病院等
- また、オンライン診療時に、患者さんがすぐにかかることの出来る病院又はクリニックを双方で確認を行います。

【複数の医師がオンライン診療を実施する予定】

- なし

【セキュリティ/情報漏洩等の注意やリスク、責任分界点について】

- 患者さんには、ご自身で保有しているスマートフォンをご利用いただきます。
リスク回避のため、セキュリティ対策（使用する OS やアプリケーションの適宜アップデート、セキュリティソフト導入など）をご自身で行っていただく必要があります。

●想定されるセキュリティリスク

-医療機関及びオンライン診療システム業者、又は患者さんが使用する端末に対するサイバー攻撃等による患者さんの個人情報の漏洩・改ざん等

●オンライン診療中は、医師の許可がない限り、以下の行為は行わないでください。

「第三者のビデオ通話への参加」「ビデオ通話の録音、録画、撮影とそれらのデータの SNS やネット上への掲載など」「チャット機能の利用やファイルの送付」

●医師のメールアドレスや携帯番号などの個人情報を、診療に関わりのない第三者に提供してはいけません。

●患者さんの行為により、セキュリティ事案や損害等が生じた場合、発生した直接的・間接的・その他の全ての損害について医師は責任を問いません。

【料金について】

●費用：保険診療料+保険外診療料(オンライン診療に係る費用)

～保険外診療(オンライン診療に係る費用)の内訳～

① 通話料・システム利用料等：1100 円

② 郵送料等：500 円 ※院内処方がない場合はかかりません。

●支払方法：M3 デジスマ診察券アプリを用いたオンラインクレジットカード決済

【その他】

●院内処方の場合は、事前問診での住所登録の間違いによる処方薬等の不着は保証いたしかねます。

オンライン診療の実施に当たっては、上記の通り、患者さんにも責任が発生し、自己責任で行うこととなります。当院に故意または過失がない限り、一切の責任を負いかねます。

アヴァンセレディースクリニック 院長 ヴァルクス公美子殿

上記および診療計画の内容に対して十分に理解し同意した上で、オンライン診療を希望いたします。

また、問診回答時の同意チェックにてこの同意書の内容を理解し、同意したことに相違はありません。